

平成 27 年 11 月 9 日

## 講道館杯全日本柔道体重別選手権大会

### 上川選手(100kg 超級)が優勝、下和田選手(100kg 級)が準優勝



講道館杯全日本柔道体重別選手権大会が 11 月 7 日と 8 日の 2 日間にわたり千葉ポートアリーナ（千葉市）で開催され、京葉ガス柔道部の上川大樹選手が男子 100kg 超級で優勝し、下和田翔平選手が同 100kg 級で準優勝しました。

【写真】優勝した上川選手(上)と準優勝の下和田選手(下)=11月8日、千葉ポートアリーナ



公益財団法人全日本柔道連盟が主催する大会が、来年のリオデジャネイロ五輪第1次選考会として行われ、男女各7階級で強豪選手による熱戦が繰り広げられました。京葉ガス柔道部からは5選手が出場しました。

このうち2日目の100kg超級（出場32選手）で上川選手は、1、2回戦とも払い腰で一本勝ちすると、影浦心選手（東海大学）との3回戦は5分間の試合時間で勝負がつかずゴールデンスコア方式の延長戦となり、有効を奪って勝利しました。続く準決勝は高橋和彦選手（新日鐵住金）と戦い、残り24秒に大外返で一本勝ちし、西潟健太選手（旭化成）との決勝戦は終盤まで両者に技のポイントがなく「指導3」で並んでいましたが、残り12秒で上川選手が有効を奪って優勢勝ちしました。上川選手の本大会での優勝は、平成25年以来、2年ぶり2回目となります。

同級で昨年優勝の岩尾敬太選手は、3回戦で小川雄勢選手（明治大学）に一本勝ちし準決勝に駒を進めたものの、ここで西潟選手に延長戦の末、優勢負けを喫し、続く3位決定戦も敗れたため表彰台を逃しました。

次項に続く

同日の 100kg 級 (30 選手) に出場した下和田選手は 1 回戦を一本勝ち、2 回戦は延長戦を優勢勝ちで制すると、阪本健介選手 (東海大学) との 3 回戦と羽沢頼誠選手 (パーク 24) との準決勝は僅差で勝利しました。決勝戦ではウルフアロン選手 (東海大学) を相手に中盤までリードしていたものの、終盤に逆転の一本を奪われ、準優勝となりました。

今大会の結果により、上川選手と下和田選手は、12 月 4~6 日に東京体育館で行われる国際大会「グランドスラム東京」の日本代表に選出されました。



決勝戦を戦う上川選手(右)